

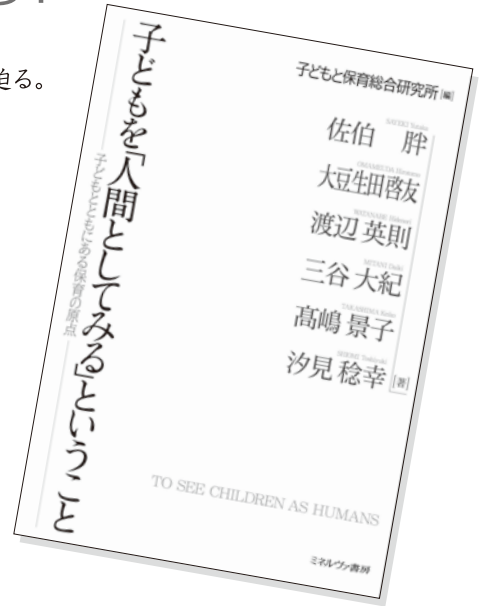
# 今日、子どもの姿に何回驚いただろうか？

保育制度の大変革期にあるいまだからこそ、大切にしたいことがある。  
佐伯胖氏と大豆生田啓友氏の対談をもとに、保育という営みの根源に迫る。

子どもと保育総合研究所 編

# 子どもを 「人間としてみる」 ということ

——子どもとともにある保育の原点



ISBN978-4-623-06799-2 C3036 四六判美装カバー308頁 本体2200円(税別) 2013年12月刊

いま、保育において大切にしなければならないことは？ これからの保育に求められる視点とは？  
本書では、佐伯胖氏と大豆生田啓友氏の対談をもとに、「子ども観とは」「遊びとは」「学ぶとは」「育つ・育てるとは」といった保育という営みの根本にある問題について考えていく。さらに、「子どもを人間としてみる」ということを人間学的な視点から考察した、汐見稔幸氏の特別寄稿も収録。  
保育制度の大変革期にあるいま、改めて保育の「新」と「真」を考える、保育関係者必読の一冊。

はじめに……………渡辺英則

## 第Ⅰ部 幼児教育はなぜ生涯にわたる人間形成の基礎といわれるのか ——対談 佐伯胖 × 大豆生田啓友

## 第Ⅱ部 これからの保育に向けて

- 第1章 子どもを「人間としてみる」ということ……………佐伯 胖  
——ケアリングの3次元モデル
- 第2章 子どもとともにあるおとなのあり方……………三谷大紀
- 第3章 子どもを丁寧にみるということ……………高嶋景子
- 第4章 人とのかかわりのなかで育つ「学び」とは……………渡辺英則

### 【特別寄稿】

- 子どもを「人間としてみる」ことの「人間学」……………汐見稔幸
- おわりに……………大豆生田啓友

◇執筆者紹介◇

佐伯 胖 (さえき ゆたか)  
信濃教育会教育研究所所長

渡辺英則 (わたなべ ひでのり)  
ゆうゆうのもり幼稚園園長

三谷大紀 (みたに だいき)  
関東学院大学専任講師

大豆生田啓友 (おおまめうだ ひろとも)  
玉川大学准教授

高嶋景子 (たかしま けいこ)  
田園調布学園大学准教授

汐見稔幸 (しおみ としゆき)  
白梅学園大学・同短期大学学長



ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1番地 営業部直通 TEL 075-581-0296 FAX 075-581-0589  
Mail eigyo@minervashobo.co.jp http://www.minervashobo.co.jp/ 宅配可(手数料@380)/価格税別